

【技術の名称】 MIRACR構法 ー開口付き中板と三角スチフナを用いたRC柱S梁 接合部構法ー（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第06-13号改1 性能証明発効日：2025年4月14日 【取得者】 鉄建建設株式会社
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート（RC）造柱と鉄骨（S）造梁からなる混合構造において、梁端部柱面に支圧板を配置し、中板および三角スチフナを配置するとともに、周囲をふさぎ板で囲んだRC柱S梁接合部を構築するための構法である。中板には、開口付きと開口なしの場合がある。また、支圧板、中板および三角スチフナは、S造梁の端部柱面に生じる応力の柱梁接合部への伝達を期待し、ふさぎ板は、コンクリート打設時の型枠代わりとするとともに、柱梁接合部コンクリートの拘束に伴う強度上昇を期待している。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第06-13号（2006年11月7日）
改定1：GBRC 性能証明 第06-13号改1（2025年4月14日）

- ・設計方法の追加（段差梁、偏心梁）
- ・適用範囲の拡大（コンクリート強度、使用鉄筋、使用鋼材）
- ・ふさぎ板の加工方法を追加（冷間曲げ加工）
- ・適用建築物の範囲を変更（高さ60m以下）
- ・申込者の変更（2社から1社）

【技術開発の趣旨】

本技術は、工期および施工費用の縮減が可能なRC造柱、S造梁からなる混合構造建築物の実現を意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「MIRACR 構法 設計施工指針」に従って設計・施工されたRC柱S梁接合部は、同指針で定める長期荷重時、短期荷重時および終局時の要求性能を有する。

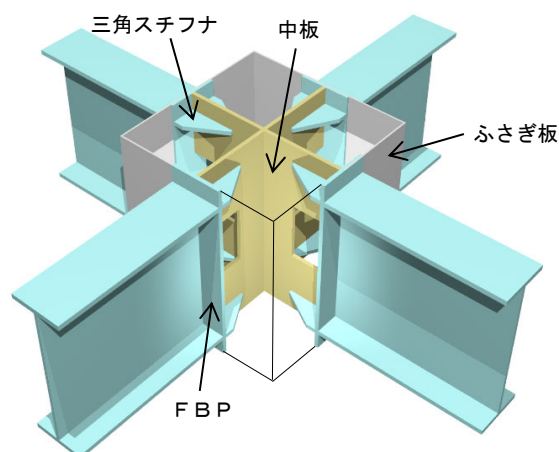


図-1. 構法概要図（一般梁）

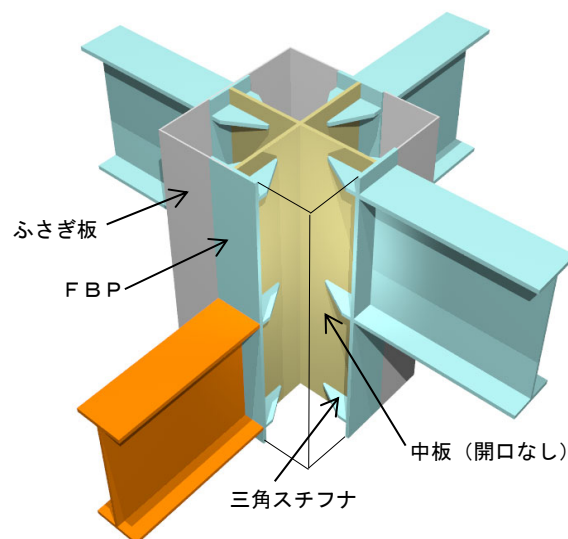


図-2. 構法概要図（段差梁）

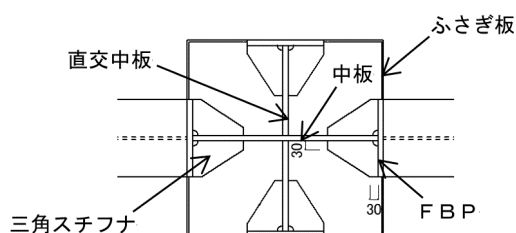


図-3. 開口を設けた柱梁接合部の形状

【本技術の問合せ先】

鉄建建設株式会社 担当者：石渡 康弘

E-mail：yasuhiro-ishiwata@tekken.co.jp

〒286-0825 千葉県成田市新泉 9-1

TEL：0476-36-2371 FAX：0476-36-2380